

2017 年 3 月 31 日

株式会社アクアセラピューティクス[®]の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する株式会社アクアセラピューティクス（本社：兵庫県神戸市、代表取締役：吉川寿徳、以下「アクア社」）の全株式について、アクア社に譲渡することを決定しましたのでお知らせ致します。

INCJ は 2013 年 4 月、ボナック核酸^{*1}の開発を目指すアクア社に対し、医薬品開発の初期段階に必要な資金として 4.5 億円の投資を決定し、2015 年 9 月には 5 億円を上限とする追加投資を行うことを決定しました。

これまでアクア社は、ペリオスチン^{*2}遺伝子を標的とするボナック核酸の非臨床試験を推進してきました。今般、同社は事業戦略を変更し、従来同様ペリオスチン遺伝子を標的とするものの、ボナック核酸とは異なる核酸医薬の開発事業を優先することになりました。これに伴い INCJ は保有する全株式をアクア社に売却することとなりました。

*1：ボナック核酸は、核酸医薬の化学修飾に関するプラットフォーム技術です。株式会社ボナックが技術権利を有し、アクア社はライセンスを受けて開発を進めてきました。核酸医薬は体内での安定性が低いことが課題ですが、ボナック核酸技術を用いて適切に化学修飾することで、体内での安定性が高まり、副作用の軽減や高い薬効につながることが期待されています。

*2：ペリオスチンは、細胞の接着や増殖などに関与する蛋白質で、慢性的な炎症疾患に広く関与しています。アクア社は、ペリオスチンの関与が知られている眼科疾患（特に滲出性加齢黄斑変性）に対し、既存薬では充足されないアンメットメディカルニーズへの対応を目指してきました。

参考) 1.INCJ は 2013 年 4 月に「産学の技術を結集し日本独自の次世代核酸医薬の開発を目指すバイオベンチャーへの出資を決定」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1418022447.01.pdf>

2.INCJ は 2015 年 9 月に「アクアセラピューティクスへの追加投資の決定について」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1441865366.03.pdf>

株式会社アクアセラピューティクスについて

設立 2012 年 3 月

事業内容 医薬品、医薬部外品および化粧品の研究開発、製造および販売
医療用具、医療用機器および医療用機械器具の研究開発、製造および販売
医学研究コンサルタント業

所在地 兵庫県神戸市

代表者 吉川 寿徳

URL <http://www.aqua-therapeutics.com/>

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話 : 03-5218-7202 URL : <http://www.incj.co.jp/>

[別紙]

1. 対象事業会社

株式会社アクアセラピューティクス

- ・設 立 : 2012 年 3 月
- ・代表者 : 吉川寿徳
- ・所在地 : 兵庫県神戸市
- ・事業内容 : 医薬品、医療部外品および化粧品の研究開発、製造および販売
医療用具、医療用機器および医療用機械器具の研究開発、製造および販売
医学研究コンサルタント業

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額:総額 9.5 億円(上限 4.5 億円+5 億円)
- ・実投資額:8.9 億円(4.5 億円+4.4 億円)
- ・共同投資家:三菱 UFJ キャピタル、SMBC ベンチャーキャピタル、ニッセイ・キャピタル等
- ・株式保有割合:非公表
- ・支援決定公表日:2013 年 4 月 / 2015 年 9 月
<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1418022447.01.pdf>
<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1441865366.03.pdf>
- ・投資ストラクチャー図:
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1441865366.02.pdf>

3. 経緯

(1)出資の経緯

アクアセラピューティクスは、2012 年 3 月、ペリオスチンを標的遺伝子とする核酸医薬(ボナック核酸)の実用化を目的に設立された創業ベンチャー企業です。ボナック核酸プラットフォームは、九州大学、東京医科歯科大学、ボナック社が共同研究で発見された産学連携の成果であり、技術ライセンスはボナック社が所有しています。

INCJ は、アクアセラピューティクスの事業は、革新的医薬品の開発により、これまで有効な治療薬がなかった疾患などアンメットメディカルニーズに対応するものとして、2013 年 4 月、同社に対し、研究開発資金として 4.5 億円の投資を実行しました。

さらに、INCJ は、アクアセラピューティクスの事業進展に伴い、2015 年 9 月に 5 億円を上限とする追加投資を決定し、4.4 億円の投資を実行しました。

(2)事業の進捗

アクアセラピューティクスは、設立時からペリオスチンを標的遺伝子とする核酸医薬(ボナック核酸)

の非臨床実験を推進してきましたが、これまでのサルやマウスを用いた有効性試験などの事業進捗状況を踏まえて、同社は事業戦略の変更を決断し、従来同様ペリオスチン遺伝子を標的とするものの、ボナック核酸とは異なる核酸医薬の開発を優先することとなりました。

(3)Exit の経緯・内容

アクアセラピューティクス^①の事業戦略変更に伴い、INCJ は、2017 年 3 月、保有する全株式をアクアセラピューティクスに譲渡することとなりました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)意見

創薬ベンチャー企業等への積極的な支援は、我が国の産業競争力の源泉の一つである健康医療産業の強化のために重要性が増していく。創薬ベンチャー企業特有の事業課題を精緻に分析し、その反省に立って引き続き創薬ベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。